



この違いは偕行会では心臓や下肢（ASO）での死亡が少ないことです。感染症（肺炎やシャント感染）も少なくなっています。

今後、更に長期生存を目指すには脳卒中・がんに対する取り組みの強化や、感染症・心臓への更なる対策強化が求められます。脳卒中の予防のために、頸部エコーで頸部の動脈のアテローム（コレステロールのゴミ）の検査をしています。異常があれば MRI で追加検査をして私の外来受診をしていただき、脳梗塞予防の手術が必要かどうかを判断するような試みを始めて 2 年目になります。手術の患者さんも増えてきて成果が分析できるようになると期待しています。がんで多いのは肺がん 肝臓がん 胃・大腸がん 腎がん すい臓がんなどです。昨年より CT 検査で胸部まで撮影して、肺気腫や繊維症などのがんになりやすい病気を調べるようになっています。また、腹部 CT で骨盤の中まで撮影して、直腸がんや前



立腺がん、卵巣がんなども出来るだけ早めに見つけるようにしました。直ぐに成果は出ませんが、これから出てくると期待しています。肝臓も肝臓専門医が 2 名から 3 名になる予定で、診療も充実しますので（手術、カテーテル治療、焼却治療、抗がん剤と総合的に治療しています）、定期的な通院で早期に対処できるかと考えています。